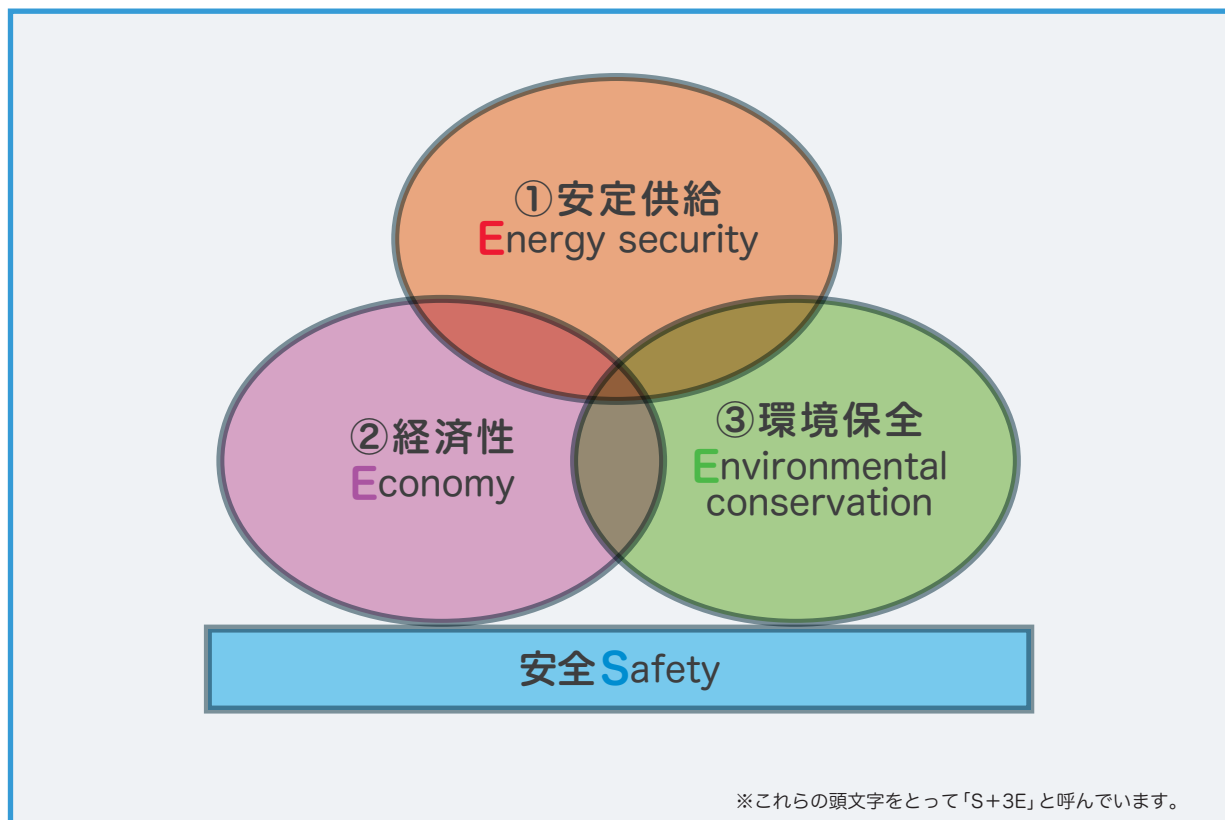


5

これからのエネルギー政策と電源構成を 知ろう

● バランスのとれたエネルギーミックスを目指して

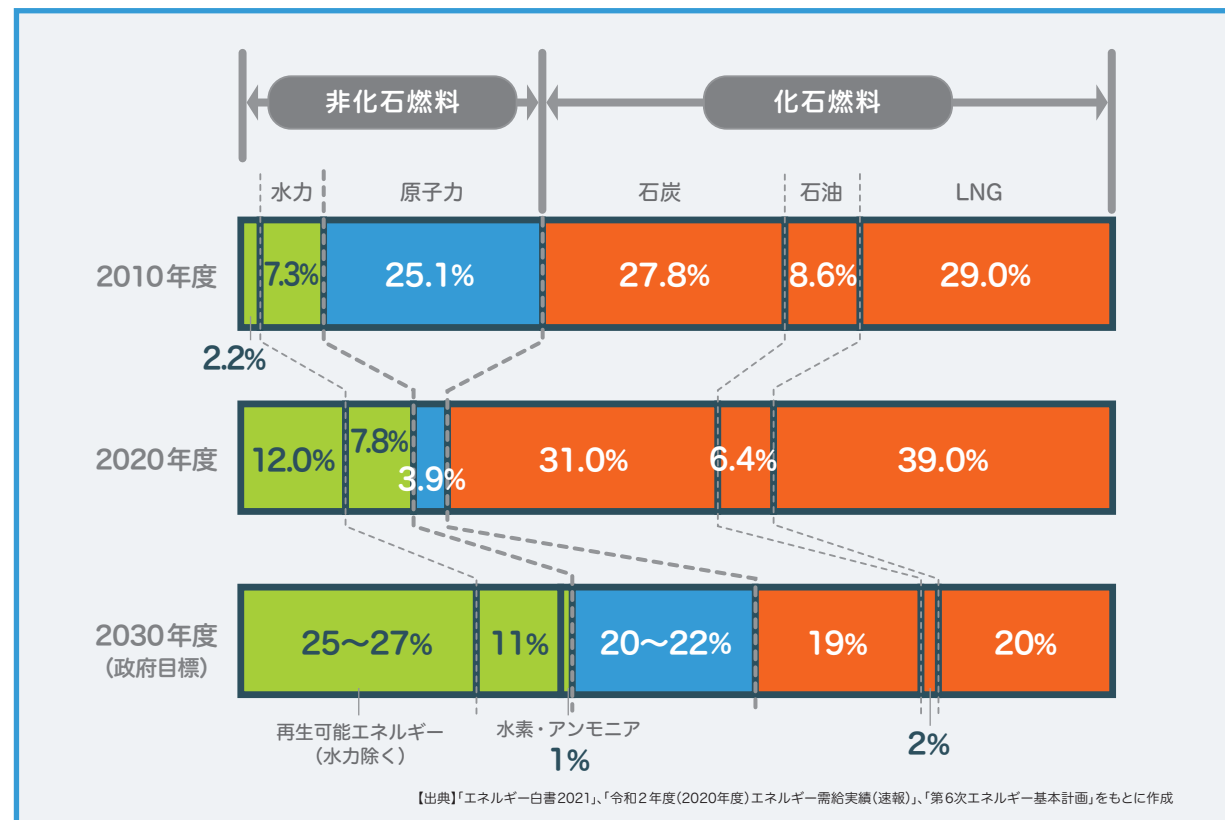


資源の乏しい日本が、これからも安定した社会を維持するためには、安全性 (Safety) を大前提として、①安定供給 (Energy Security) と②経済性 (Economy) を向上させ、かつ③環境保全 (Environmental conservation) も考慮しなくてはなりません。

みなさんも実際に最適なエネルギーミックスを考えて

みてその難しさがわかったと思いますが、それぞれの発電方法にはメリットとデメリットがあります。S+3Eを実現するためには、特定の発電方法に依存せず、バランスのとれたエネルギーミックスを実現させることが大切なのです。

● 日本の将来の電源構成はどうなっているの？



日本政府は 2050 年までにカーボンニュートラル (温室効果ガスの排出を実質ゼロにする) を目指すことを宣言し、2030 年の電源構成の目標を上図のように発表しました。それによると再生可能エネルギーや原子力発電を合わせた非化石燃料が約6割、石炭やLNGなどの化石

燃料が約4割の構成になっています。

安全性の確保を最優先とした原子力発電を一定程度活用し、同時に気候変動対策を進め、安定供給の確保やエネルギーコストの低減 (S+3E) に向けた取り組みを進める内容になっています。

